

2014 ジャパンカップ プレス取材／撮影要項

更新日：2014年10月14日

■プレス受付について

・報道関係者様の受付設置場所ならびに受付稼働時間は、以下となります。

日付	プレス受付① ペルマナンス（ホテルニューイタヤ内）	プレス受付② メイン会場 森林公園（S/F 地点横）
16(木)	09:00～18:00	×
17(金)	09:00～18:00	×
18(土)	09:00～18:00	×
19(日)	×	07:00～15:00

・受付では、「取材申請書」と「ご本人が取材者であることを確認できるもの（名刺、メディア I D、社員証など）」をご提示頂きます。必ずご持参ください。

・受付では、ADカード、報道用ビブス、関連資料（3ツ折パンフレット、2014 公式プログラム、取材撮影上の注意事項など）を配布いたします。

・上記時間以外での対応は、広報事務局：小原（090-9854-9542）、川上（080-3003-6684）までご連絡をください。

・コミュニケ（スタートリスト、リザルトなど）に関しては、e-mail、公式HP、紙資料（プレス受付、プレステント）にて逐次配信を予定します。

■コミュニケを e-mail で受信を希望される方は、<http://lists.matrix-inc.co.jp/mailman/listinfo/jc2014> へアクセス頂き、予め登録手続きをお願いします。

<登録までの流れ>

①必要事項（アドレス、名前、パスワード（各自設定）、表示言語）を記入／選択いただき、「入会を申し込み」をクリックします。

②メールアドレスの確認のため、登録アドレスに『confirm xxx(ランダムな文字列)』というメールが届きます。

③上記メールにそのまま返信をするか、メールに記載されている URL にアクセスすることで登録が完了します。登録完了後、Welcome メールが届きます。

※初期設定は英文表記となりますが、ページ左上「Japanese Page」から日本語表記へと切り替えが可能です。

※クリテリウムのレース結果記録に関しては、プレステントでは配布いたしません。ペルマナンス（ホテルニューイタヤ内）にて配布します。

■ADカードの発行について

・プレスによる撮影／取材には、事務局発行のプレス用ADカードが必要となります。

・ADカードは原則として、事前に取材申請のあったメディアに対し、プレス受付で発行します。

なお、当日申請のメディア・記者については、事務局が取材承認をした場合に限り発行します。

・プレスによる撮影／取材に関連するADカードは、以下の区分となります。

「ORGANIZATION」(青)・・・オフィシャルムービー、オフィシャルスチール

「MEDIA」(緑)・・・報道関係者(一般プレス、チーム広報、大会関係各社広報)

■報道用ビブスについて

・本大会ならびに本大会関連コンテンツの取材／撮影の際には、ビブス着用が必要となります。ビブスは原則として、事前に申請のあった媒体社に対して、プレス受付にて配布します。

また、当日申請の場合も、事務局が取材承認した場合に限り配布します。なお、自社腕章をお持ちの方は着用をお願いします。

・報道用ビブスには、以下の区別がございます。

ビブス①「赤」・・・オフィシャルメディア　ビブス②「緑」・・・ペン記者　ビブス③「黄」・・・スチールカメラ　ビブス④「青」・・・テレビカメラ

・報道用ビブス／AD区分

色	対象	申請	管理	IDカード	プレスカー 乗車可／否	競技コース内撮 影可／否	ゴールエリア内撮 影可／否	選手取材 可／否	共同会見 参加可／否
赤	オフィシャル	事前	要返却	ORGANI ZATION	○	○	○	○	○
緑	ペン記者	事前／当日	要返却	MEDIA	○	×	×	○	○
黄	スチールカメラマン	事前／当日	要返却	MEDIA	○	○	○	○	○
青	テレビカメラマン	事前／当日	要返却	MEDIA	○	○	○	○	○

■取材規制について

・競技の妨げにならない限り、コース周辺からの撮影・取材は原則として可とします。

・スタート／フィニッシュ地点に関しては、安全面の配慮から撮影／取材エリアを限定します。

・競技規定により撮影・取材エリアへの入場人数を制限する場合があります。この場合、競技運営責任者との協議の上、大会事務局広報が撮影・取材エリアでの取材調整を行います。

・スタート時のコース内での撮影は可とする。ただし、一般プレス・チーム広報はスタート3分前、オフィシャルはスタート1分前までとし、規定時間でコース外に移動ください。

・ゴール時のコース内での撮影は可とする。ただし、1社1台までとし、オルガナイザーが設定したラインに沿って整列した場所から撮影できます。

なお、ゴール時の撮影は大変な危険が伴うため、UCI 競技規定により撮影エリアへの入場人数を制限する場合があります。(当日調整)

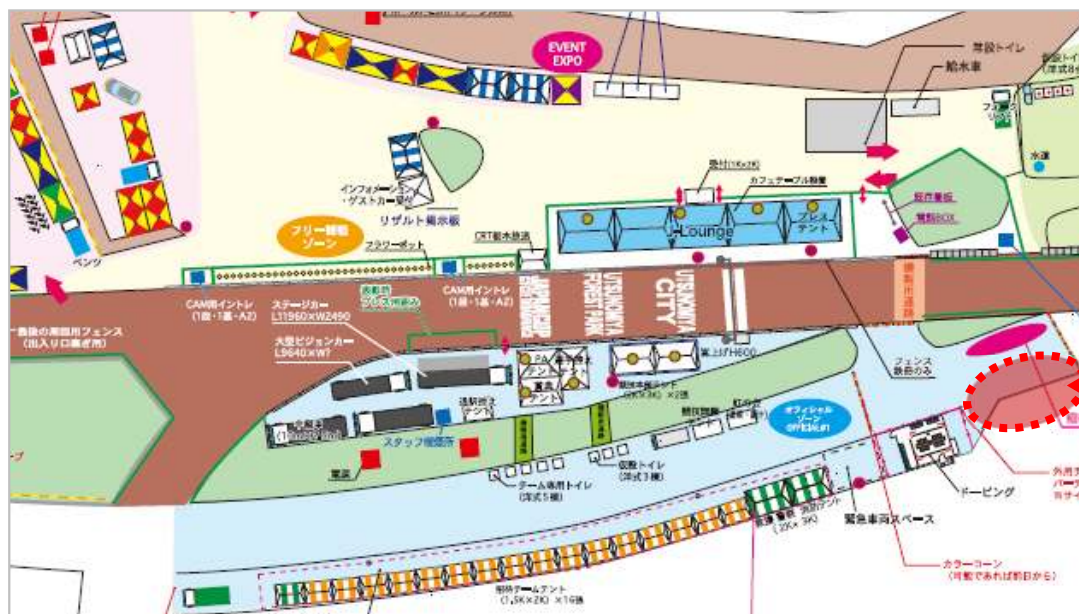
ラインはレース最終盤の状況に応じて設定されます。ラインが前方と後方の 2 箇所に設置される場合には、前方をオフィシャルビブス着用のカメラとさせていただき、オフィシャル優先とさせて頂きます。 ※クリテリウム競技時のコース内での撮影も、1 社 1 台までとさせていただきます。

- ・オフィシャルカメラ（ムービー、スチール）と一般プレス・チーム広報は、撮影・取材エリアの範囲が異なる場合があります。
- ・ライセンスコントロール、監督会議、ドライバーズミーティング、コミセール会議の内容は、取材不可となります。

■プレスカーの利用手順について

- ・プレスカーの運行を、10 月 19 日（日）ジャパンカップサイクルロードレースにて行います。
- ・運行は、競技スタート直後から開始します。その後はレース展開を考慮しながら巡回します。
- ・プレスカーの乗車は、チームテントピットワークエリア（S/F 地点横）入口近辺より、ご利用いただけます。（以下地図参照）
- ・プレスカーは、スバル・LEVORG [レヴォーグ]（3 台予定）となり、スペースの都合上、オフィシャルビブス優先で乗車いただけます。1 週目、終盤ラスト 2 周などではオフィシャルカメラマンに席をお譲り下さいます様、各社様のご協力をお願いします。なお、乗／降車の際には係りの誘導に従い、スムーズなご移動にご協力ください。
- ・レース終盤は、周回遅れの選手が生じるなどの理由で運行が予告なしに中断あるいは中止することが想定されるので、余裕をもってお戻りください。

<プレスカー乗／降車場所>



プレスカー乗／降車場所

■プレステントについて

・設置場所は、各会場プレス受付近辺に設置されます。

* ジャパンカップサイクルロードレース → 電話、FAX、通信用モジュージャック、W i f i、電源が使用いただけます。

* ジャパンカップクリテリウム → 通信用モジュージャック、W i f i、電源が使用いただけます。

(電話回線の長時間使用は禁止とさせていただきます)

※w i f i は共有のものになりますので、強い電波を期待しないでください。極力各人でのお持ち込みを推奨致します。

■駐車場について

・駐車場の場所は、ろまんちっく村となります。(各社1台まで/メイン会場までは一般乗合バスで20分程度(片道200円)かかります)

・ご利用が出来る日は、10月19日に限ります。

※台数に限りがあるため、ご利用の可否は、事務局から別途ご連絡をさせていただきます。ご利用の際には、専用駐車証をお渡しいたします。

なお、ご利用できない場合、公共の交通機関や会場とホテルニューイタヤ(駅)を結ぶシャトルバス(有料)、またはプレスバスをご利用ください。

■プレスバスについて <プレスバス時刻表(予定)>

* 10月18日(土) 07:00 ホテルニューイタヤ発 →07:50 森林公園会場着

13:45 森林公園会場発 →15:00 クリテリウムS/F地点付近着 →15:20 ホテルニューイタヤ着

* 10月19日(日) 07:00 ホテルニューイタヤ発 →07:50 森林公園会場着

16:00 森林公園会場発 →16:50 宇都宮駅・16:55 ホテルニューイタヤ着

16:30 森林公園会場発 →17:20 宇都宮駅・17:25 ホテルニューイタヤ着

※乗車の際、ADパス(必携)をご提示頂きます。なお、乗車人数に限りがあり、乗車頂けない場合もございます。(先着順)

※往/復路ともに交通渋滞により、到着時間が遅くなる場合がございます。予めご了承ください。

■表彰式

* 10月18日 ジャパンカップクリテリウム 場所：オリオンスクエア(18:30 予定)

* 10月19日 ジャパンカップサイクルロードレース 場所：S/F地点付近の特設ステージ(14:30 予定)

■ 選手共同インタビュー

- ・ジャパンカップサイクルロードレース表彰式後、レース勝者（上位3名）と日本人選手（最高位1名）の計4名での共同インタビューをプレス Tent 内にて行う予定です。

■ 撮影上の注意事項

- ・コース上での撮影は、いかなる場合も競技の進行を妨げず、選手と観客の安全確保を最優先して行ってください。
身体や撮影機材をコース上に乗り出での撮影は、大変危険ですのでおやめ下さい。
- ・通常のカメラの概念を超える撮影機材を使用する際は必ず事務局に相談し、許可を得てください。
(ラジコンヘリによる空撮、スティックにセットした動画カメラ、地面にストロボを設置する特殊なストロボを使用する等)
- ・選手たちに背を向けたり、急な動きをしたり、道路に寝そべるなど、選手たちに動揺を与える撮影方法は避けてください。
- ・ゴールスプリント時の撮影は大変な危険が伴うため、自転車競技撮影に精通したカメラマンのアドバイスに従ってください。
- ・ゴール時の撮影は大変な危険が伴うため、UCI 競技規定により撮影エリアへの入場人数を制限する場合があります。(当日調整)
- ・ゴールスプリントでは、高速での落車事故が発生することに備え、常に避けることができる撮影態勢でカメラを構えてください。
- ・地面には座り込まずに、しゃがむ際も片膝を立てた状態で、いつでも動ける姿勢を保ちながら撮影をお願いします。
- ・カメラマン同士が密集しすぎて、身動きがとれない体勢はとらない様、お願いします。
- ・カメラバッグ、三脚、脚立等を撮影エリアに持ち込むことや、荷物を足元に置くことは禁止します。余計な荷物は必ず体から離し、柵外に置いてください。
一脚の使用については、常に飛び避けることができる設置体勢を確保ください。
- ・ペンなどの持ち物は、胸ポケットなどに入れずに、必ず収納バッグなどに入れて持ち歩いて下さい。(コース上への落下防止)
- ・集団落車が発生した際、撮影のためにコース内の選手のもとに駆け寄ることは安全確保のため抑止されます。
- ・フィニッシュ時の写真はオフィシャル写真を配給できます。撮影に自信の無いカメラマンの方は無理な撮影に挑むのではなく、レース終了次第プレス担当者までお申し出ください。